



## **Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータ クイック・スタート・ユーザ・ガイド**

- 1 はじめに**
- 2 Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータの設置**
- 3 Windows PC 対応 USB ドライバのインストール**
- 4 イーサネットでネットワークにアクセスするためのコンピュータの設定**
- 5 Cisco 社の限定保証およびソフトウェア・ライセンス**
- 6 合衆国連邦通信委員会情報**





# 1 はじめに

このマニュアルでは、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータのインストールに必要な基本事項について説明します。Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータは、イーサネット・ネットワーク・カードまたは USB (ユニバーサル・シリアル・バス) ポートのどちらかを使用して、CATV (ケーブル TV) ネットワークと 1 台以上のコンピュータを接続します。Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータは、広帯域幅ケーブル接続で双方向データ・トラフィック、および電話とほぼ同じ品質の VoIP (Voice over IP) トラフィックを両方ともサポートします。



**警告 「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。機器の作業を行うときは、電気回路の危険性および一般的な事故防止対策に注意してください。**

## システム要件

ここでは、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータのインストールおよびオペレーションに不可欠なハードウェア要件について説明します。

- Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータおよび電源装置
- イーサネット接続を使用する場合
  - ストレートのイーサネット・ケーブル (Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータの一部のパッケージ・オプションに付属)
  - イーサネット・ネットワーク・アダプタを備え、TCP/IP プロトコルがインストールされ、IP アドレスが DHCP サーバによって自動的に割り当てられるように設定されているコンピュータ
  - Windows 95、Windows 98、Windows 98 Second Edition、Windows NT、Windows 2000、Windows Millennium



(注) サービス・プロバイダは、他のタイプの PC および CPE デバイスのネットワーク接続をサポートしている場合があります。これらの CPE デバイスが最低限満たしていなければならない要件は、10Base T イーサネット接続、TCP/IP ネットワーキング・ソフトウェア、および DHCP プロトコルを使用して IP アドレスを取得する能力です。

- USB 接続を使用する場合
  - Cisco USB ドライバ・ソフトウェア CD (Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータに付属)
  - ホスト / 装置間の USB ケーブル(タイプ「A」/タイプ「B」コネクタ、別途用意することが必要)
  - USB ポートを備えたコンピュータ
  - Windows 98、Windows 98 Second Edition、Windows 2000、Windows Millennium
- CATV (ケーブル TV) のコンセントおよび同軸ケーブル
- 同軸ケーブル・スプリッタ (別途用意することが必要、TV と Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータの両方に同じ同軸ケーブルを使用する場合に限って必要)
- (任意) アナログ電話、モデム、または FAX 装置を接続する場合
  - すべての電話、モデム、または FAX 装置をトーン・ダイヤリング方式を使用するアナログ装置にしなければなりません。
  - 状況に応じて 1 回線または 2 回線装置
    - 2 線または 4 線の RJ-11 コネクタを使用し、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータの音声ポートのそれぞれに 1 回線の電話、モデム、または FAX 装置を 2 つずつ接続できます。
    - 4 線の RJ-11 コネクタを使用し、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータの第 1 音声ポートに 2 回線 (4 線) の電話、モデム、または FAX 装置を 1 つ接続できます。2 回線装置を第 1 音声ポートで使用する場合は、第 2 回線のエクステンションとして、第 2 音声ポートに 1 回線装置を接続することができます。
  - 電話、モデム、および FAX 装置のエクステンションを使用する場合は、装置を Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータに接続するために、適切な電話ケーブル (RJ-11 コネクタを備えた 4 線ケーブル、別途用意することが必要) およびその他の機材が必要です。
  - 1 つの電話回線に複数の電話、モデム、または FAX 装置を接続する場合は、必ず 1 つの音声ポート上のすべての装置の REN (Ringer Equivalence Number) を合計した値が 5 を超えないようにしてください。REN 値は、装置が音声回線に与える AC 負荷の値であり、通常は装置ごとに示されます。同一回線に接続された装置が多すぎると、電話が正常にかからなくなり、電話の発信を完了することが困難になります。



## 2 Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータの設置

ここでは、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータを設置するための基本的な作業について説明します。図 1 に、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータの背面パネル・コネクタに各ケーブルを接続する場合の接続位置を示します。この図を参照して、必要なケーブルを接続してください。

図 1 Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータの背面パネル

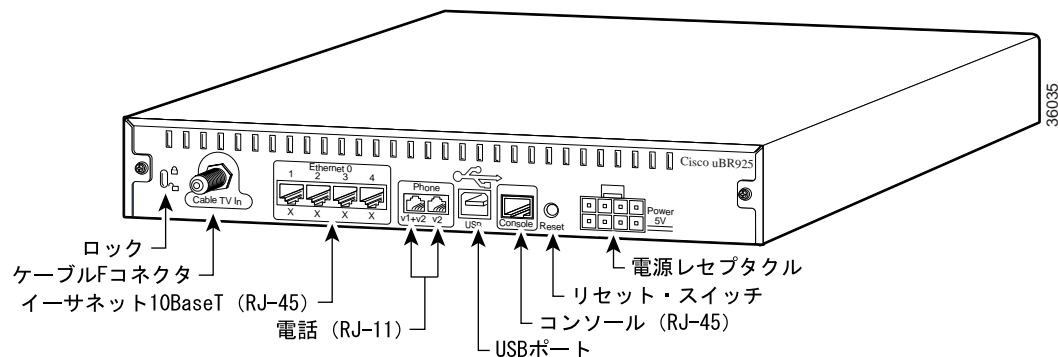
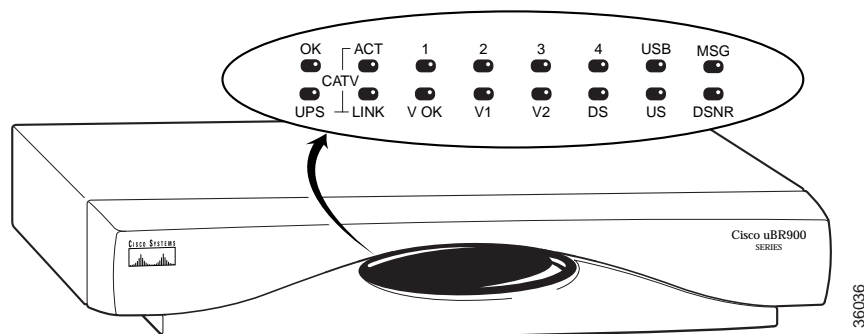


図 2 に Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータ前面パネルの LED を示します。

図 2 Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータの LED



## 物理的な配置

Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータは、卓上など、安定した平らな場所に設置できます。その際、次の注意事項を考慮してください。

- 平坦ではない場所や表面が柔らかいものの上には、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータを設置しないでください。
- CATV のドロップ接続および加入者サイトで接続するすべての装置の近くに Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータを配置します。
- 十分な通気を確保し、装置の過熱を防止するために、ケーブル・アクセス・ルータの上部および側面に障害物を置かないようにしてください。
- 接続したケーブルが折れ曲がらないように、ケーブル・アクセス・ルータの背後に十分なスペースを確保してください。

## コンピュータの電源投入

---

ステップ 1 コンピュータの電源を投入し、Windows デスクトップが起動するまで待ちます。

---

## Cisco uBR925 ルータの電源投入

この作業では、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータを電源装置に接続し、さらに、装置に電力を供給するアース付き壁面コンセントに接続します。ケーブル・アクセス・ルータは常時通電状態にしておく必要があるため、電源スイッチはありません。



(注) 必ず、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータに付属している電源装置を使用してください。



---

**ステップ 1** 電源装置ケーブルの 8 ピン・コネクタを Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータ背面パネルの「Power」というラベルのソケットに接続します。プラグがコネクタにきちんと固定されるまで押し込みます。

**ステップ 2** 電源コードのプラグ側を電源装置の反対側に接続します。

**ステップ 3** 電源コードの突起した側をアース付き壁面コンセントに差し込みます。ただちに、電力がケーブル・アクセス・ルータに供給されます。



**警告** アース導体を壊したり、アースが適切に取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうか不明な場合は、電気検査局または電気技師に問い合わせ確認してください。

**ステップ 4** 通电後しばらくして、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータ前面パネルの OK LED が点滅を開始したことを確認してください。この LED が点灯または点滅しない場合は、電源装置のケーブルがケーブル・アクセス・ルータに接続されているか、有効な壁面コンセントに接続されているかどうかを確認してください。



**ヒント** しばらくすると、OK LED が点滅を停止し、点灯状態になります。これは、ルータが Cisco IOS ソフトウェアのロードを完了し、ケーブル・ネットワークで使用できる状態であることを意味します。

---

## ケーブル・システムへの Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータの接続

次の手順で、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータをケーブル・ネットワークに接続します。これはあらゆるインストラクションで必須の作業です。

- 
- ステップ 1** TV とケーブル・ネットワーク・サービスの両方に同じコンセントを使用する場合は、ケーブル・スプリッタ / 方向性カプラを取り付けて、TV 信号とケーブル・ネットワーク信号を分離して送ります (ケーブル・スプリッタまたは方向性カプラの正しい取り付け方法については、サービス・プロバイダにお問い合わせください)。
- ステップ 2** 同軸ケーブルの一端をケーブル TV の壁面コンセントに接続します。
- ステップ 3** 同軸ケーブルの反対側を Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータ背面パネルの「**Cable TV In**」というラベルのコネクタに差し込みます。
- ステップ 4** 各コネクタを指でしっかり締めます。
- ステップ 5** Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータをケーブル TV の壁面コンセントに接続してしばらくすると、CATV LINK LED が点灯します。CATV LINK LED が数分以内に点灯しない場合は、同軸ケーブルが有効なケーブル TV コンセントに接続され、ケーブル・アクセス・ルータの **Cable TV In** コネクタに接続されていることを確認してください。
- 

## 電話、モデム、または FAX 装置への接続 (任意)

サービス・プロバイダから音声サービスを購入している場合は、次の手順で、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータを電話、モデム、または FAX 装置に接続します。音声サービスを購入していない場合は、「コンピュータへの接続 (イーサネット、任意)」(p.7) に進んでください。

- 
- ステップ 1** サービス・プロバイダから各音声ポートに割り当てられた電話番号を取得し、各電話、モデム、または FAX 装置のラベルに割り当て番号を記入します。
- ステップ 2** このケーブルの RJ-11 側を Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータ背面パネルの適切な音声ポート (「V1+V2」または「V2」のラベル) に接続します。ケーブルをレセプタクルにしっかり押し込みます。
- ステップ 3** 対応する音声ポートに番号が割り当てられている電話、モデム、または FAX 装置に、ケーブルの反対側を接続します。ケーブルをレセプタクルにしっかり押し込みます。



**ステップ 4** ステップ 2 および 3 を繰り返して、第 2 の電話、モデム、または FAX 装置を他方の音声ポートに接続します。



(注) V1+V2 コネクタは、4 線接続を使用する 1 回線または 2 回線のアナログ電話をどちらでもサポートします。2 回線の電話を使用する場合、第 2 回線は V2 音声ポートに接続された 1 回線の電話と同様に動作します。したがって、第 2 の装置を V2 ポートに接続し、第 2 回線の電話のエクステンションとして使用することができます。



**注意** サービス・プロバイダからとくに指示がないかぎり、家庭の RJ-11 ジャックに Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータを接続しないでください。PTSN (公衆交換電話網) または PTSN につながるジャックにケーブル・アクセス・ルータを接続しないでください。接続すると、ケーブル・アクセス・ルータが損傷します。

## コンピュータへの接続 (イーサネット、任意)

次の手順で、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータのイーサネット・ポートとイーサネット・ネットワーク・アダプタ・カードを使用するコンピュータを接続します。この作業が必要なのは、イーサネット・ポートを使用してケーブル・アクセス・ルータをコンピュータに接続する場合だけです。USB ポートを使用する場合は、後続の項を参照してください。



(注) 有効なイーサネット・インターフェイスがコンピュータに備わっていない場合は、この作業を行わないでください。必要な場合は、作業を始める前に、製造元の指示通りにイーサネット・ネットワーク・アダプタ・カードを搭載してください。

**ステップ 1** 付属のストレート・イーサネット・ケーブルの一端を Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータ背面パネルの Ethernet というラベルの RJ-45 コネクタに接続します。

**ステップ 2** イーサネット・ケーブルの反対側をコンピュータに搭載されたイーサネット・ネットワーク・アダプタの RJ-45 コネクタに接続します。

**ステップ 3** Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータの前面パネルで、イーサネット・リンク LED が点灯していることを確認します。この LED が点灯しない場合は、イーサネット・ケーブルがコンピュータの有効な RJ-45 コネクタに接続されていて、コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。ケーブルの反対側が Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータのイーサネット・コネクタに接続されていることも確認します。さらに、イーサネット・ケーブルがクロス・ケーブルではなく、ストレート・ケーブルであることを確認します。

---

これまでの手順で問題がある場合は、「イーサネットでネットワークにアクセスするためのコンピュータの設定」(p.18)を参照し、イーサネット・アダプタが TCP/IP 動作対応として設定されているかどうかを確認してください。

## コンピュータへの接続 (USB、任意)

次の手順で、USB ポートを使用するコンピュータに Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータを接続します。この作業が必要なのは、USB でコンピュータに接続する場合だけです。イーサネット・ポートを使用する場合は、前の項を参照してください。

---

**ステップ 1** 接続する前に、次の USB 接続要件を満たしておく必要があります。

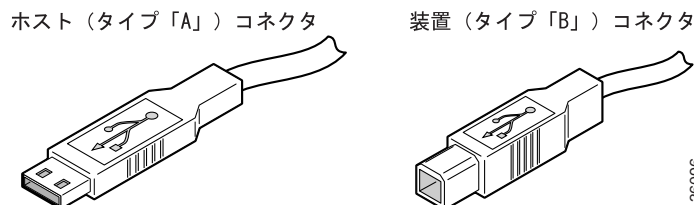
- コンピュータで Windows 98、Windows 98 Second Edition、Windows Millennium、または Windows 2000 が稼働していなければなりません。Windows 95 および Windows NT は、USB によるネットワーク接続をサポートしていません。
- Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータとコンピュータの両方の電源がオンになっていなければなりません。
- USB ハブを使用する場合は、USB ハブの設置が完了し、稼働していることを確認してから、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータを接続してください (USB ハブを使用すると、1 台の PC に複数の装置を接続できますが、複数のコンピュータを Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータに接続することはできません)。

**ステップ 2** USB ケーブルの幅のあるフラット・プラグ (タイプ「A」またはホスト側、図 3 を参照) をコンピュータ (または USB ハブ) の USB ポートに接続します。



ステップ 3 USB ケーブルの反対側、四角いボックス・プラグ (タイプ「B」または装置側、図 3 を参照) を Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータ背面パネルの USB ポートに差し込みます。

図 3 USB ケーブルのタイプ




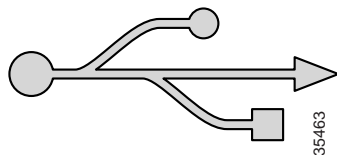
 (注) Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータの USB ポートは、音声ポート・コネクタとコンソール・ポート・コネクタの間にあり、ラベルとともに図 4 に示した USB アイコンが記されています。

図 4 USB アイコン



ステップ 4 Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータの前面パネルで、USB LED が点灯していることを確認します。この LED が点灯しない場合は、USB ケーブルの各コネクタがコンピュータ (または USB ハブ) の USB ポート、および Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータの USB ポートにきちんと差し込まれていることを確認します。USB ハブを使用する場合は、コンピュータに正しく接続されていることを確認してください。

ステップ 5 Windows ソフトウェアが新しい USB 装置が取り付けられたことを検出し、ソフトウェア・インストール・プロセスを自動的に開始します。次の「Windows PC 対応 USB ドライバのインストール」を参照し、USB ソフトウェア・ドライバをインストールしてください。

### 3 Windows PC 対応 USB ドライバのインストール

ここでは、Windows 98、Windows 98 Second Edition、Windows Millennium、または Windows 2000 が稼働している PC に Cisco USB ドライバ・ソフトウェアをインストールする手順について説明します。USB インターフェイスを介して PC と Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータ間の通信を確立するには、この手順が必要です。



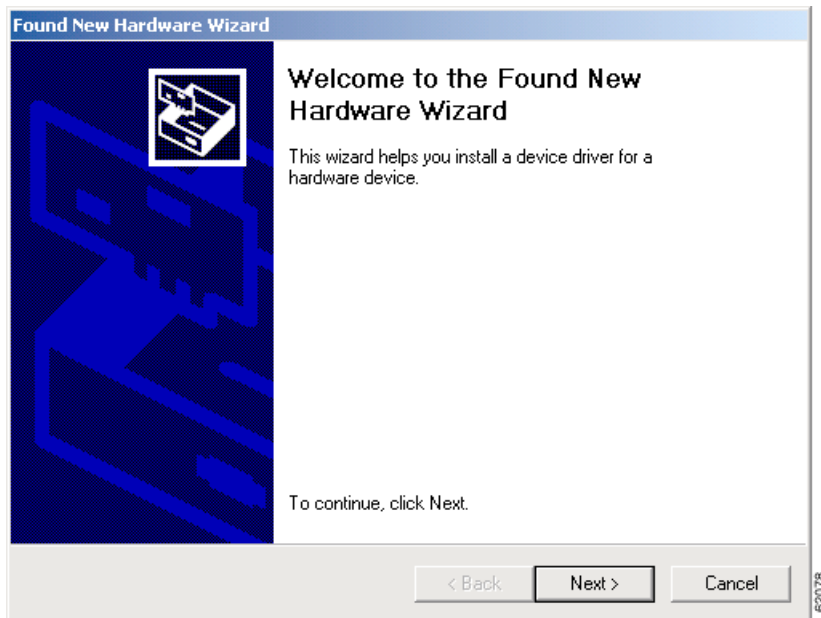
(注) USB ドライバをインストールしなければならないのは、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータで USB 接続を使用する場合だけです。USB 接続を使用しない場合は、USB ドライバをインストールしないでください。


---

**ステップ 1** Windows 98、Windows 98 Second Edition、Windows Millennium、または Windows 2000 が稼働している PC に Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータを初めて接続したときに、新しいハードウェアが検出されたことを伝えるウィンドウが自動的に表示されます。図 5 は、Windows 2000 の場合のウィンドウですが、他のバージョンの Windows でも同様です。[Next (次へ)] をクリックして処理を続けます (図 5 を参照)。



図5 Windowsの新しいハードウェアのウィザード



 (注) WindowsソフトウェアがUSBインターフェイスの存在を自動的に検出するのは、OK LEDの点滅が停止して点灯状態になってからです。OK LEDが点灯状態になったときには、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータへの Cisco IOS ソフトウェアのロードが完了し、ケーブル・システムへの登録処理が開始されています。OK LED が点灯状態にならない場合は、USBおよび同軸ケーブル接続を中心に、すべてのケーブル接続を確認してください。

ステップ 2 次の画面が表示されたら、[Search for a suitable driver] オプション(または [Search for the best driver]) を選択し、[Next (次へ)] をクリックします (図 6 を参照)。

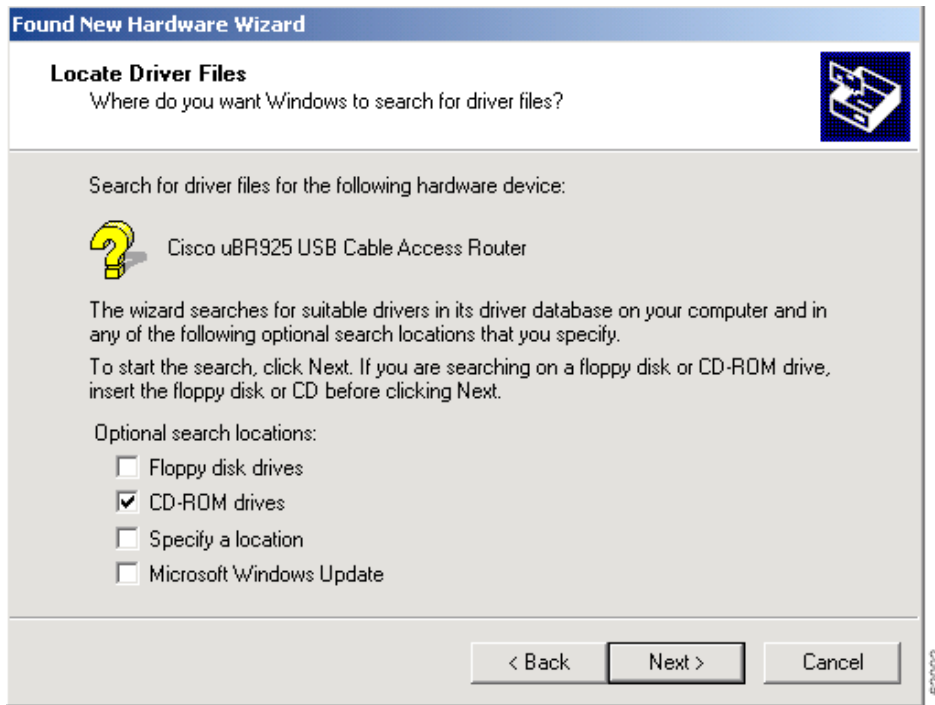
図 6 適切なドライバを検索するウィンドウ



ステップ 3 Windows ソフトウェアにどこで USB ドライバを検索させるかをたずねる画面が表示されたら、コンピュータの CD-ROM ドライブに Cisco USB ソフトウェア・ドライバ CD を挿入します。さらに、CD-ROM ドライブ・オプションを選択し、[Next (次へ)] をクリックします (図 7 を参照)。

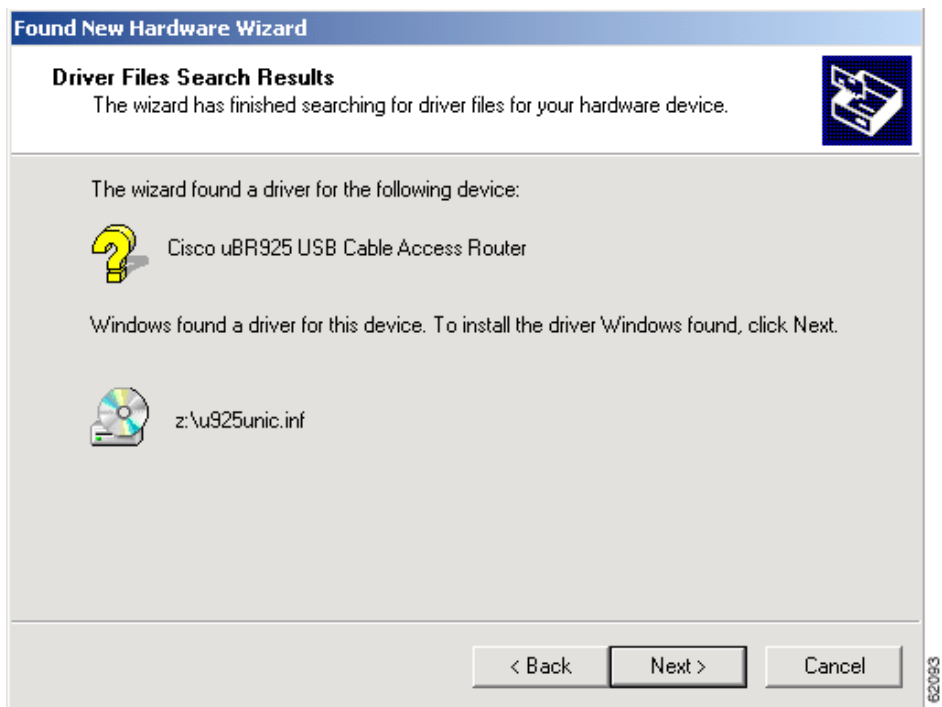



図 7 CD-ROM ドライブの指定



ステップ 4 Windows ソフトウェアが CD を検索し、次のドライバ情報を表示します。[Next (次へ)] をクリックして処理を続けます (図 8 を参照)。

図 8 Windows による新しいドライバの検出



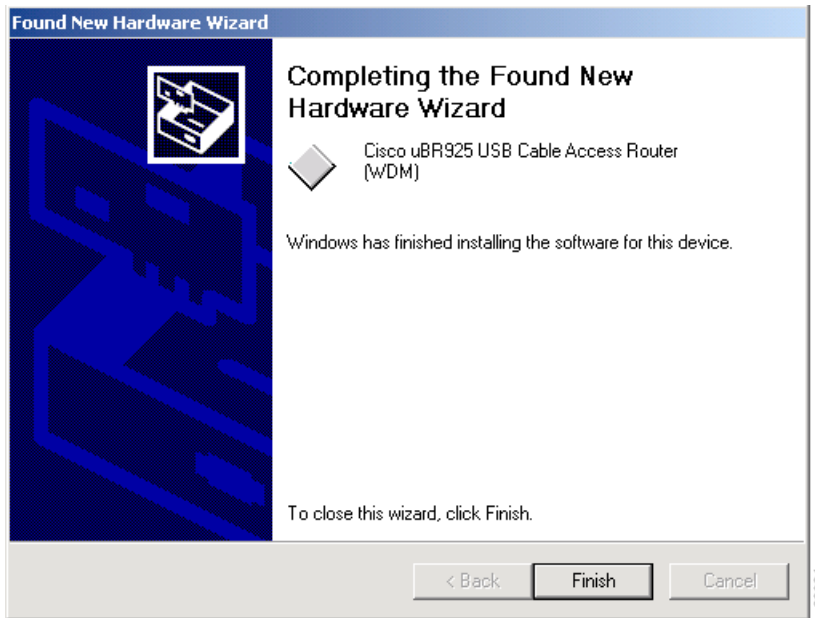
 (注) このウィンドウに表示されるテキストおよびドライバ・ファイル名は、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータのソフトウェア・バージョンによって異なる場合があります。

**ステップ 5** Windows のインストレーション CD-ROM を挿入するように指示されたら、Cisco USB ドライバ CD を取り出して、Windows インストレーション CD を挿入し、[OK] をクリックします（コンピュータにインストールした Windows ソフトウェアによっては、この作業が不要な場合もあります）。

**ステップ 6** Windows ソフトウェアによって、次のステータス・ウィンドウが表示されます。[Finish（完了）] をクリックして処理を続けます（図 9 を参照）。

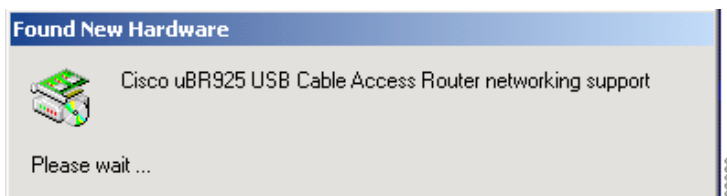


図9 Windows の新しいハードウェア・ウィザードの終了



ステップ7 Windows によってさらに、USB ネットワーキングに必要な TCP/IP ドライバがインストールされます。[Next (次へ)] をクリックして処理を続けます (図 10 を参照)。

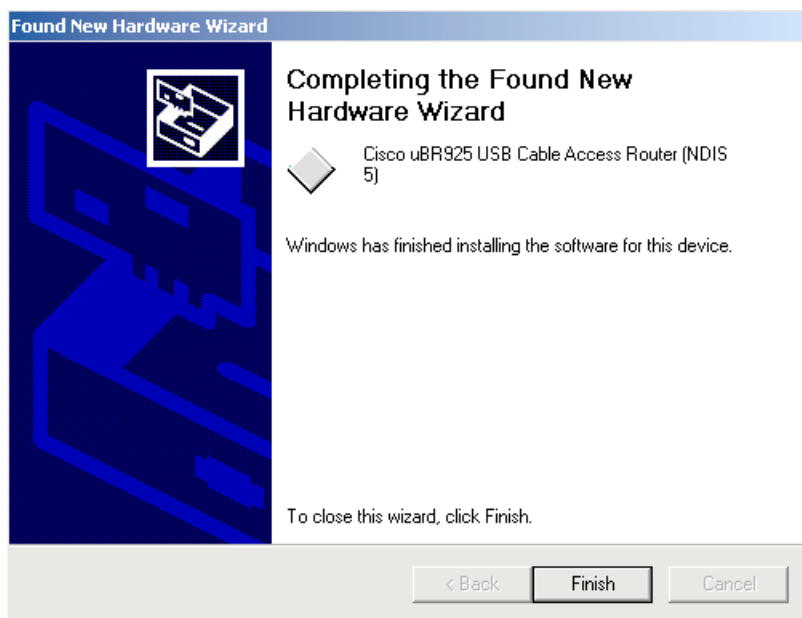
図10 USB ネットワーキング・ドライバのインストール



ステップ 8 Windows ソフトウェアから、必要なドライバをどこでどのように探せばよいかたずねられます。[Search for a suitable driver] オプション（または [Search for the best driver]）を選択し、[Next(次へ)] をクリックします。さらに、CD-ROM ドライブを選択し、[Next(次へ)] をクリックして処理を続けます。

ステップ 9 TCP/IP ドライバのインストール後、次のステータス・ウィンドウが表示されます。[Finish(完了)] をクリックして処理を続けます（図 11 を参照）。

図 11 Windows によるネットワーキング・ドライバ・インストールの完了



ステップ 10 Windows ソフトウェアによる USB ドライバ・ソフトウェアのインストールが完了すると、PC を再起動するように指示されます。[Yes] をクリックして PC を再起動すると、ドライバがアクティブになり、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータとの通信が開始されます。



これで、USB 接続を使用する Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータのインストール手順は終了です。これ以上の設定は不要です。ただし、Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータとの接続にイーサネットも使用するという場合は、次の項を参照し、イーサネット・ネットワーキング用に TCP/IP ソフトウェアを設定してください。



（注） サービス・プロバイダによっては、サービスにアクセスするための独自の設定手順を用意している場合があります。その場合は、その手順を完了してから先へ進んでください。

## 4 イーサネットでネットワークにアクセスするためのコンピュータの設定

PC がイーサネット・カードを使用して Cisco uBR925 ケーブル・アクセス・ルータに接続する場合は、最後のインストール手順として、TCP/IP の設定をコンピュータに合わせて変更します。この手順は、Windows 95/98 マシンと Windows NT/2000 マシンとで異なります。



(注) USB 接続を使用するコンピュータの場合、USB ソフトウェア・ドライバをインストールすると、TCP/IP ソフトウェアが自動的にインストールされて設定されるので、この手順は不要です。

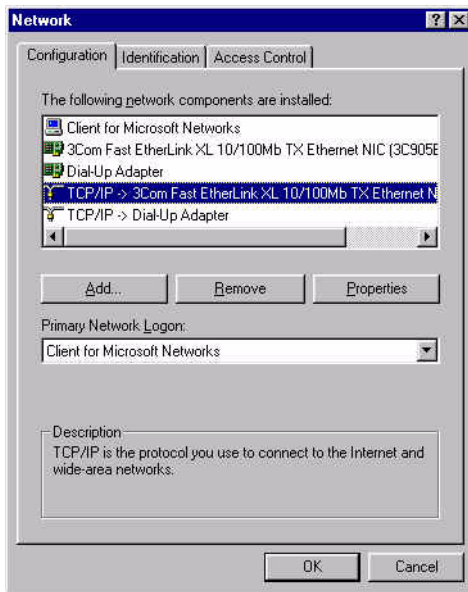
### TCP/IP の設定 ( Windows 95/98 )

---

- ステップ 1 [Start (スタート)]>[Settings (設定)]>[Control Panel (コントロールパネル)] を選択し、コントロールパネルから [Network (ネットワーク)] のアイコンをダブルクリックします。
- ステップ 2 ネットワーク・ウィンドウで [Configuration (ネットワークの設定)] タブをクリックし、ネットワーク・アダプタおよび他のネットワーク・コンポーネントの一覧を表示します。
- ステップ 3 イーサネット・カードに対応づけられた [TCP/IP] オプションを選択し、[Properties (プロパティ)] ボタンをクリックします (図 12 を参照)。



## 図 12 TCP/IP のプロパティ・ウィンドウ



- ステップ 4 [IP Address (IP アドレス)] タブをクリックし、[Obtain an IP address automatically (IP アドレスを自動的に取得)] をクリックして、さらに [OK] をクリックします。この設定により、コンピュータは起動時に、DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバから IP アドレスを取得することになります。
- ステップ 5 サービス・プロバイダからデフォルト・ゲートウェイ用の値が割り当てられている場合は、[Gateway (ゲートウェイ)] タブをクリックし、デフォルト・ゲートウェイの値を入力します。それ以外の場合は、フィールドを空白にしておきます。
- ステップ 6 サービス・プロバイダから DNS (Dynamic Name Server) 設定用の値を指定されている場合は、[DNS Configuration (DNS 設定)] タブをクリックします。さらに、[Enable DNS (DNS を使う)] ボタンをクリックし、プロバイダから提供された DNS サーバ情報を入力します。

ステップ 7 [OK] をクリックして新しい設定値を受け入れ、もう一度、[OK] をクリックして設定画面を終了します。

ステップ 8 コンピュータを再起動し、DHCP サーバから新しい IP アドレスを強制的に取得させます。

---



(注) サービス・プロバイダによっては、サービスにアクセスするための独自の設定手順を用意している場合があります。その場合は、まずその手順を完了してください。

## TCP/IP の設定 ( Windows NT )

---

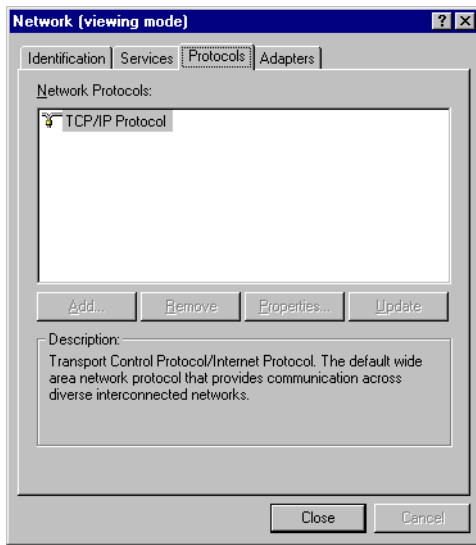
ステップ 1 [Start( スタート )]>[Settings( 設定 )]>[Control Pane( コントロールパネル )] を選択します。

ステップ 2 [Network ( ネットワーク )] をダブルクリックし、[Protocols ( プロトコル )] タブを選択します。

ステップ 3 リストの [TCP/IP Protocols ( TCP/IP プロトコル )] をクリックし、[Properties ( プロパティ )] をクリックして、[IP Address ( IP アドレス )] タブを選択します ( 図 13 を参照 )。



### 図 13 TCP/IP のプロパティ・ウィンドウ



ステップ 4 [Obtain an IP address automatically ( IP アドレスを自動的に取得 )] をクリックします。


ステップ 5 [Apply] をクリックします。

ステップ 6 [DNS] タブを選択し、ケーブル・サービス・プロバイダから提供された DNS サーバ情報を入力します。

ステップ 7 [OK] をクリックします。

ステップ 8 コンピュータを再起動し、DHCP サーバから新しい IP アドレスを強制的に取得させます。

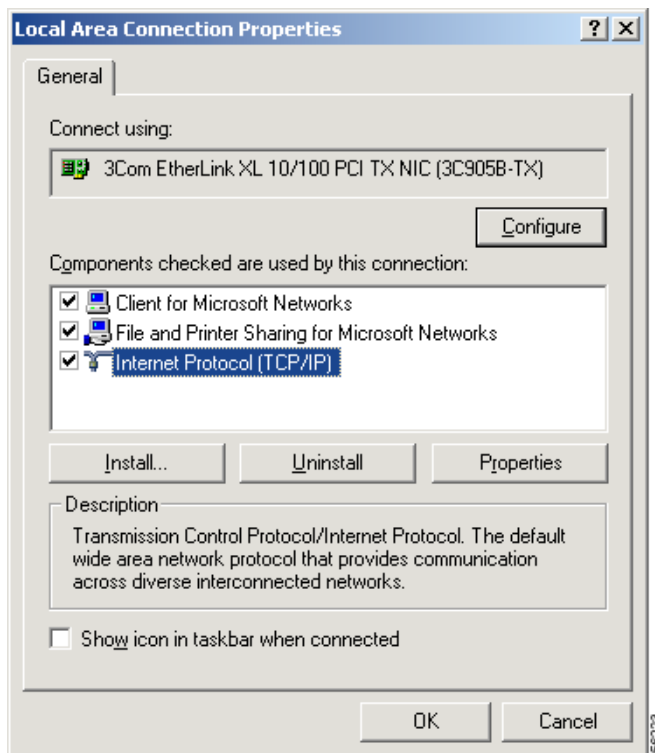
---

 (注) サービス・プロバイダによっては、サービスにアクセスための独自の設定手順を用意している場合があります。その場合は、まずその手順を完了してください。

## TCP/IP の設定 ( Windows 2000 )

- ステップ 1 [Start ( スタート ) ]>[Settings ( 設定 ) ]>[Network and Dial-up Connections ( ネットワークとダイヤルアップ接続 ) ] : [Local Area Connection ( ローカルエリア接続 ) ] を選択します。
- ステップ 2 ローカルエリア接続のステータス・ウィンドウで [Properties ( プロパティ ) ] ボタンをクリックします。
- ステップ 3 必要に応じて、ウィンドウ上部のボックスからコンピュータのイーサネット・カードを選択します。さらに、リストから [Internet Protocol (TCP/IP) ( インターネット・プロトコル [TCP/IP] ) ] を選択します ( 図 14 を参照 ) 。

図 14 インターネット・プロトコル (TCP/IP) のプロパティ・ウィンドウ

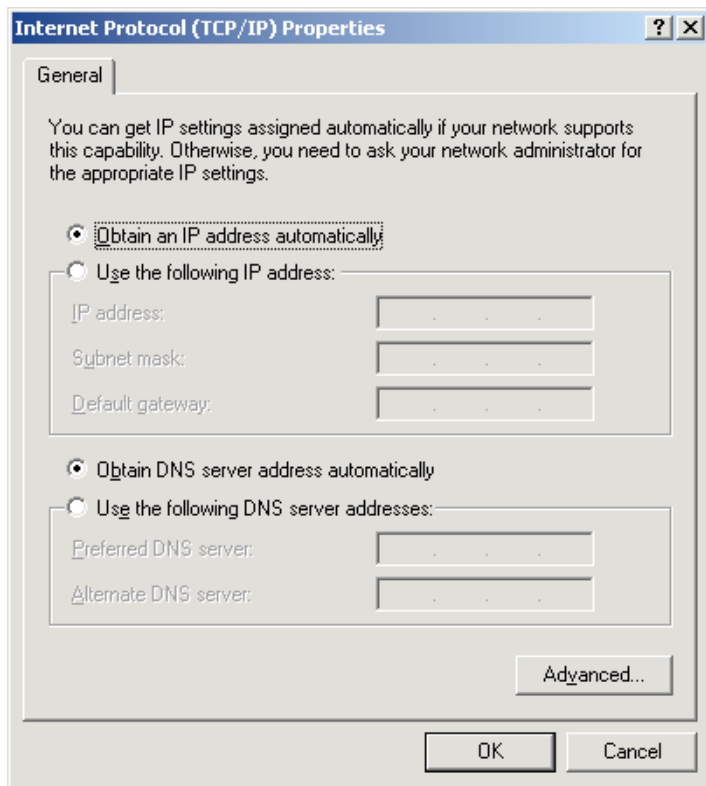




ステップ 4 [Properties (プロパティ)] ボタンをクリックします。

ステップ 5 [Obtain and IP address automatically (IP アドレスを自動的に取得する)] および [Obtain DNS server address automatically (DNS サーバのアドレスを自動的に取得する)] を選択します (図 15 を参照)。

図 15 IP アドレス取得のウィンドウ



ステップ 6 [OK] を 2 回、[Close (閉じる)] を 1 回クリックして、ネットワーキング関連のすべてのウィンドウを閉じます。

ステップ7 コンピュータを再起動し、DHCP サーバから新しい IP アドレスを強制的に取得させます。

---



(注) サービス・プロバイダによっては、サービスにアクセスするための独自の設定手順を用意している場合があります。その場合は、まずその手順を完了してください。



## 5 Cisco 社の限定保証およびソフトウェア・ライセンス

### 限定保証

**ハードウェア。** Cisco Systems, Inc. (「Cisco 社」) の直販ではない場合、製品を販売している Cisco 社の関連会社は、カスタマへの納品日から (a) 90 日間 (Cisco 社の代理店による再販の場合には、Cisco 社による最初の出荷から数えて 90 日間) または (b) 製品に添付された保証書 (ある場合) に記載された期間、通常の使用においてハードウェアの材質および製造に欠陥がないことを保証します。Cisco 社による製品の出荷日は、製品の外箱に記載されています。この限定保証は、製品の一次ユーザーに限り適用されます。この限定保証の適用となるカスタマ限定の補償および Cisco 社 / 代理店の全面的な責任は、Cisco 社または Cisco 社のサービス・センタの判断により、保証書に記載された期間内に、記載された交換手続きに従って交換することによって全うされます。または、ハードウェアが Cisco 社以外のカスタマへの供給元へ返品された場合は、購入代金、送料、および払い込まれた保険料を返金することになります。ハードウェアの修理に使用する Cisco 社の交換部品は、新品または新品同様のものとなります。Cisco 社は、Cisco 社または Cisco 社のサービス・センタにおけるその時点で最新の RMA (Return Material Authorization : 返品許可) 手続きに従って返品された物品という条件で責務を負います。

**ソフトウェア。** Cisco 社は、カスタマへの納品日から (a) 90 日間 (Cisco 社の代理店による再販の場合には、Cisco 社による最初の出荷から数えて 90 日間) または (b) 製品に添付された保証書 (ある場合) に記載された期間、(a) 通常の使用において、ソフトウェアが収められたメディアの材質および製造に欠陥がないこと、および (b) ソフトウェアが実質的に、公開されている仕様に適合していることを保証します。前記を除き、ソフトウェアは「現状のまま」として提供されます。この限定保証は、製品の一次ライセンス保持者に限り適用されます。この限定保証の適用となるカスタマ限定の補償および Cisco 社 / 代理店の全面的な責任は、Cisco 社以外のカスタマへのソフトウェア供給元に報告された (または要請に基づいて返品された) 場合、Cisco 社または Cisco 社のサービス・センタの判断により、ソフトウェアの修理、交換、または返金によって全うされます。Cisco 社はいかなる場合にも、ソフトウェアにエラーがまったくなく、ユーザーが問題に遭遇することなく、または停止することなく、ソフトウェアを操作できることを保証するものではありません。

さらに、ネットワークに対する侵入および攻撃に関して、絶えず新しい技法が開発されているので、ソフトウェア、またはそのソフトウェアを使用する機器、システム、またはネットワークが侵入または攻撃に対して万全であることを Cisco 社は保証しません。

**Y2K。** Cisco 社は、<http://www.cisco.com> から始まる [Year 2000 Compliance] の Web ページ ([Year 2000 ページ]) の [Compliance Table] (注釈を含む) に規定されている [Year 2000 Compliant] (または「グリーン」のステータス表示) と指定された製品について、納品時点で次の意味において、「2000 年対応」であるものとします。

- A. この製品は 1999 年および 2000 年の間およびそれ以前、データおよび時刻計算を正確に処理します。
- B. 時刻関連データの操作はすべて、アプリケーション・ドメイン内で有効な日付値に求められる結果が得られます。
- C. これらの製品の日付要素では、4 桁のストレージを使用して世紀を示すので、エラーの可能性が排除されます。
- D. 世紀表示のない日付要素が存在した場合でも、正しい世紀が明白に継続されるので、正確な結果が得られます。また、他の 2000 年対応ソフトウェア製品と組み合わせて使用した場合、このソフトウェアは日時データを正確に処理します。

[Year 2000 Compliant (2000 年対応)] とされている製品が、2000 年問題に対応していなかった場合、またはその他の理由で Cisco 社が前記の規定に反した場合、Cisco 社はカスタマ限定補償として、製品が 2000 年対応になるように修理または交換します。または、Cisco 社が 2000 年対応になるように製品を修理または交換できない場合で、なおかつ Cisco 社が納品した状態で (通常の摩耗や破損は除く) Cisco 社に返品され、Cisco 社のその時点での RMA 手順が満たされている場合、Cisco 社は Cisco 社に支払われた製品購入代金を返金します。前記の規定および補償が適用されるのは、2001 年 1 月 31 日以前に返品された製品、または Cisco 社の標準サポート・ポリシーに準じたサポートが得られなくなった製品の、どちらか先に発生した方に限定されます。発注された各製品は、納品日現在の Cisco 社の [Year 2000 ページ] が適用されます。

**制限事項。** 製品が (a) Cisco 社以外によって改変された場合、(b) Cisco 社の指示に従ってインストール、操作、修復、または保守されなかった場合、(c) 異常な物理 / 電氣的ストレス、誤用、不注意、または事故があった場合、または (d) ベータ、評価、テスト、またはデモンストレーション目的で、Cisco 社が購入代金またはライセンス料金を受け取らずに販売された場合、またはソフトウェアの場合は、ソフトウェアのライセンスが供与された場合は、この保証は適用されません。

**保証の免責。** この保証で規定されているものを除き、明示的または暗黙のあらゆる条件、表現、および保証は、商品性、特定用途への適合性、権利に対する非侵害性、満足できる品質に関する、または取り扱い、法律、使用、または商習慣によって生じるものに関する、あらゆる暗黙保証または条件を無制限に含め、適用される法律の範囲で除外されます。暗黙保証を除外できない範囲で、これらの保証の適用は保証期間に限定されます。一部の国または司法では、暗黙保証の存続期間を限定すること



が認められていないので、上記の制限が該当しない場合もあります。この保証により、固有の法的権利が得られますが、同時に、司法の管轄ごとに異なる他の権利も与えられる場合があります。この免責および除外は、上記で規定された明示的保証が本来の目的を果たさない場合でも適用されます。

## ソフトウェア・ライセンス

**このソフトウェア・ライセンスを最後まで読んだうえで、Cisco 社または Cisco 社提供のソフトウェアをダウンロード、インストール、または使用してください。**

このソフトウェアをダウンロードまたはインストールすることにより、またはこのソフトウェアが組み込まれた装置を使用することにより、このライセンスによる拘束を承諾することになります。このライセンスのすべての条項に同意しない場合は、(A) このソフトウェアをダウンロード、インストール、または使用しないでください。また、(B) ソフトウェアを返品して全額返金を受けることができます。または、別の製品の一部としてこのソフトウェアが提供された場合は、製品全体を返品し、全額返金を受けることができます。返品して返金を受ける権利は、Cisco 社または Cisco 社認定代理店から購入後、30 日間有効です。また、この権利を有するのは、一次購入者に限られます。

次の条項は、所定のプログラムが (a) Cisco 社と別途書面で交わした契約下にある、または (b) インストールまたはダウンロード、あるいはその両方のプロセスの一部である別個の「クリック式」ライセンス契約を含んでいる場合を除き、ソフトウェアの使用を規定するものです。上記文書の規定と矛盾する場合、優先順位は (1) 書面の契約、(2) クリック式契約、(3) このソフトウェア・ライセンスです。

**ライセンス。** この契約で他の規定がない限り、Cisco Systems, Inc. (「Cisco 社」) の直販ではない場合はこのソフトウェアのライセンスを供与する Cisco Systems, Inc. の関連会社、およびその代理店は、この契約の条項および条件に従い、購入者(「カスタマ」)に対して、カスタマが必要なライセンス料金を支払った特定の Cisco プログラム・モジュール、フィーチャ・セット、またはフィーチャ(「ソフトウェア」)をオブジェクト・コード形式で使用する場合に限り、非独占的かつ譲渡不能なライセンスを提供します。さらに、上記のライセンスは、該当する場合、次の制限を受けるものとします。

- 文書で特に明記されていない限り、カスタマはカスタマが所有またはリースしている Cisco 社の装置で実行する、または(適用文書において、非 Cisco 装置へのインストールが許可されている場合) カスタマが所有またはリースしている Cisco 社の装置と通信する場合に、組み込まれた状態に限り、このソフトウェアを使用するものとします。

- カスタマによるソフトウェアの使用は、単一ハードウェア・シャーシ上、単一中央処理装置上、または該当する場合で、なおかつカスタマが必要なライセンス料金を Cisco 社に支払っている場合、それ以上の数のシャーシまたは中央処理装置上での使用に限定されるものとします。
- カスタマによるソフトウェアの使用はさらに、該当する場合、また、カスタマの発注書または Cisco 社の製品カタログ、ユーザ・マニュアル、または Web サイトで規定されているとおりの、最大 ( a ) シート数 ( すなわち、インストールされたソフトウェアにアクセスできるユーザ数 ) ( b ) 同時ユーザ数、セッション数、ポート数、または発行された / 未処理の IP アドレス数、あるいはそれらのすべて、または ( c ) 中央処理装置のサイクルまたは命令 / 秒数、あるいはそれらすべてに限定されます。カスタマによるソフトウェアの使用はさらに、このソフトウェアに対応するカスタマの発注書または Cisco 社の製品カタログ、ユーザ・マニュアル、Web サイトにおいて規定された他の制限事項によって制限されます。



( 注 ) Cisco 社がライセンス料金を請求しない評価版またはベータ版については、上記のライセンス料金支払い条件は適用されません。

**一般的な制限事項。** この契約における他の明示的な規定を除き、カスタマに下記の事項を行う権利はありません。また、カスタマは下記の事項を行わないことに、明確に同意するものとします。

- ( i ) ライセンスの権利を他人に譲渡、委譲、または二次ライセンスすること、または認定されていない Cisco 装置または中古の Cisco 装置上でこのソフトウェアを使用すること。このような譲渡、委譲、またはサブライセンスは無効です。
- ( ii ) ソフトウェアの変更または改変になるエラー修正を行うこと、ソフトウェアに基づく派生物を作成すること、または第三者にそのような行為を許可すること。または、
- ( iii ) ソフトウェアの逆コンパイル、復号化、リバース・エンジニアリング、逆アセンブル、その他、ソフトウェアを人間が判読できる形式にすることによって、ソフトウェアに含まれる企業秘密または機密情報にアクセスできるようにすること。

法律によって必要とされる場合、Cisco 社はカスタマの要求に対して、Cisco 社が妥当とする料金で、このソフトウェアと別個に作成された他のプログラム間のインターオペラビリティを実現するために必要な、インターフェイス情報をカスタマに提供します。カスタマは、この種の情報に関して、機密保持の責務を遵守するものとします。



**アップグレードおよび追加コピー。**この契約の目的として、「ソフトウェア」には、Cisco 社またはカスタマが該当するライセンス料金を支払った認定代理店によってカスタマにライセンス供与または提供されたソフトウェアのあらゆるアップグレード、アップデート、バグ修正、または変更バージョン（集合的に「アップグレード」）またはバックアップ・コピーが含まれます（また、この契約の条項および条件が適用されます）。

この契約の他の規定にかかわらず、(1) カスタマは追加のコピーまたはアップグレードを取得した時点で、本来のソフトウェアに対する有効なライセンスをすでに有し、アップグレードに対する料金の支払いが完了していない限り、追加のコピーまたはアップグレードを使用するライセンスすなわち権利はありません。(2) アップグレードの使用は、カスタマが本来の最終使用購入者またはリース利用者である Cisco 装置またはその他、アップグレードされたソフトウェアを使用できる有効なライセンス保持者の Cisco 装置に限定されます。(3) 追加コピーの使用は、バックアップ目的に限定されます。

**商標表示。**カスタマは、ソフトウェアのあらゆるコピーに、ソフトウェアに含まれていた著作権およびその他の商標表記と同じ形式および形態で、あらゆる著作権およびその他の商標表記を維持再生することに同意するものとします。この契約によって明示的に許可された場合を除き、カスタマは事前に Cisco 社から書面による許諾を得ずに、ソフトウェアをコピーすなわち複製することはできません。ただし、カスタマの合法的な使用に必要であり、カスタマがオリジナルと同じ著作権、機密保持、および商標表示のすべてをコピーに添付する場合に限り、カスタマはソフトウェアのバックアップ・コピーを作成することができます。

**情報の保護。**カスタマは、ソフトウェアおよび関連資料の各要素が、個々のプログラムの設計および構造を含めて、Cisco 社の企業秘密または著作権で保護された情報、あるいはその両方を形成していることに同意するものとします。カスタマはいかなる形であれ、Cisco 社から事前に書面による同意を得ずに、この種の企業秘密または著作権によって保護された情報を第三者に情報開示、提供、または第三者の利用を可能にしないものとします。カスタマは、妥当なセキュリティ対策を施すことによって、このような企業秘密または著作権で保護された情報を保護するものとします。ソフトウェアおよび資料の権利は、あくまでも Cisco 社にあります。

**期間および終了。**このライセンスは終了まで有効です。カスタマはあらゆる資料を含め、ソフトウェアの全コピーを破棄することによって、いつでもこのライセンスを終了することができます。カスタマがこのライセンスの規定に従わなかった場合、このライセンスにおけるカスタマの権利は、Cisco 社からの通知がなくても、ただちに終了します。終了と同時に、カスタマは所有または管理しているソフトウェアの全コピーを破棄しなければなりません。

**カスタマ・レコード。** カスタマは、この契約の遵守を検査する目的で、カスタマの通常の営業時間に、Cisco 社および Cisco 社の独立会計士がカスタマの帳簿、記録、および口座を調べることを認めるものとします。このような監査で契約が遵守されていないことが明らかになった場合、カスタマは迅速に該当するライセンス料金を Cisco 社に支払うものとします。

**輸出。** ソフトウェアは技術データを含め、米国輸出管理議定書および関連規制など、米国の輸出規制法の適用を受けます。また、他の国で輸出入規制の対象となる場合があります。カスタマは、この種のすべての規制を遵守し、ソフトウェアの輸出、再輸出、または輸入にはライセンスの取得が必要であることを認識しているものとします。

**権利の制限。** Cisco 社の商用ソフトウェアおよび商用コンピュータ・ソフトウェア・マニュアルは、この契約および FAR 52.227-19(1987 年 6 月)に含まれる [Commercial Computer Software - Restricted Rights] 条項の (c) に従い、米国政府関係機関に提供されます。国防総省関係機関に関しては、DFARS 252.227-7015(1995 年 11 月)の [Technical Data-Commercial Items] 条項で規定された制限も適用されます。

## 限定保証の記述およびソフトウェア・ライセンスに適用される一般条件

**免責。** いかなる場合にも、Cisco 社またはその代理店は、ハードウェアまたはソフトウェアを使用できないことによって発生する利益またはデータの損失または損傷などの、特殊、間接的、必然的、偶発的または罰則的なあらゆる損害に対して責任を負わないものとします。また、Cisco 社またはその代理店は、たとえ上記のような損害の可能性をあらかじめ知らされていたとしても、それらに対する責任は一切負わないものとします。いかなる場合にも、Cisco 社またはその代理店がカスタマに対して負う責任は、契約、不法行為（怠慢を含む）またはその他にかかわらず、カスタマが支払った金額を超えないものとします。上記の制約は、上記の保証が本来の目的を達成できない場合でも適用されます。一部の国または司法は、必然的または偶発的損害に関する制限または排除を認めていないので、上記の制約が適用されない場合もあります。

この保証およびソフトウェア・ライセンスは、カリフォルニア州の法律に基づいて作成され、その管理下にあります。ヨーロッパ連合加盟国、ノルウェー、またはスイスのカスタマには、イギリスの法律が適用されるという条件で、法の対立に関する原則には言及していません。国際売買に関する国連法は適用されません。この文書の中に無効または実施不能箇所がある場合でも、保証およびソフトウェア・ライセンスのそれ以外の規定は有効です。ここで明示的に規定されていない限り、ソフトウェア・ライセンスは、ソフトウェアのライセンスに関して両者間の全面的な合意を形成し、注文書に含まれるいかなる矛盾する条件または追加条件よりも優先されます。Cisco 社による製品の出荷日は、製品の外箱に記載されています。



この保証の適用を受ける製品の供給に関して、カスタマが Cisco 社と直接契約を交わした場合は、その契約条件が、この保証または保証書、またはソフトウェア・ライセンスの条件と矛盾しても、直接契約の条件が優先されます。カスタマは、この文書で言及している社内 URL アドレスおよび Web ページは、Cisco 社によって適宜更新される可能性があり、製品がカスタマに納品された日に有効だったバージョンが適用されるということを承知しているものとします。

## 保証情報

新しい Cisco 製品に対する製造元の保証期間は、この冊子に付随するカードに記載されています。保証に関する具体的な情報は、次の URL に複数の言語で用意されています。

[http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es\\_inpck/cetrans.htm](http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/es_inpck/cetrans.htm)

## 6 合衆国連邦通信委員会情報

FCC クラス A 適合装置に関する記述：この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定されたクラス A デジタル装置の制限に適合していることが確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、高周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオ/テレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

FCC クラス B 適合装置に関する記述：このマニュアルに記載された装置は、高周波エネルギーを発生および放射する可能性があります。Cisco 社の指示する設置手順に従わずに装置を設置した場合、ラジオ/テレビの受信障害が起こることがあります。この装置はテスト済みであり、FCC ルール Part 15 に規定された仕様のクラス B デジタル装置の制限に適合していることが確認済みです。これらの仕様は、住宅地で使用したときに、このような干渉を防止する適切な保護を規定したものです。ただし、特定の設置条件において干渉が起きないことを保証するものではありません。

装置の電源を切ることによって、この装置が干渉の原因であるかどうかを判断できます。干渉がなくなれば、Cisco 社の装置またはその周辺機器が干渉の原因になっていると考えられます。装置がラジオまたはテレビ受信に干渉する場合には、次の方法で干渉が起きないようにしてください。

- 干渉がなくなるまで、テレビまたはラジオのアンテナの向きを変えます。
- テレビまたはラジオの左右どちらかの側に装置を移動させます。
- テレビまたはラジオから離れたところに装置を移動させます。
- テレビまたはラジオとは別の回路にあるコンセントに装置を接続します(装置とテレビ/ラジオがそれぞれ別個のブレーカまたはヒューズで制御されるようにします)。

Cisco 社では、この製品の変更または改造を認めていません。変更または改造した場合には、FCC 認定が無効になり、さらに製品を操作する権限を失うこととなります。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。  
本書とあわせてご利用下さい。

Cisco Connection Online Japan

<http://www.cisco.com/japanese/manuals/>

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、  
どうぞご利用下さい。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

AccessPath、AtmDirector、Browse with Me、CCDE、CCIP、CCSI、CD-PAC、CiscoLink、Cisco NetWorks のロゴ、Cisco Powered Network のロゴ、Cisco Systems Networking Academy、Fast Step、Follow Me Browsing、FormShare、FrameShare、GigaStack、IGX、Internet Quotient、IP/VC、iQ Breakthrough、iQ Expertise、iQ FastTrack、iQ Net Readiness Scorecard、iQ のロゴ、MGX、Networkers のロゴ、Packet、RateMUX、ScriptBuilder、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、TransPath、Unity、Voice LAN、Wavelength Router、WebViewer、は Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn、Discover All That's Possible、Empowering the Internet Generation、は Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco IOS のロゴ、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherSwitch、FastHub、FastSwitch、IOS、IP/TV、LightStream、MICA、Network Registrar、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、Registrar、StrataView Plus、Stratm、SwitchProbe、TeleRouter、VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の登録商標です。

このマニュアル / Web サイトで言及している他のブランド、名称、商標はいずれも、それぞれの所有者のものです。「パートナ」という用語を使用している場合、Cisco 社と他社とのパートナ関係を意味するものではありません。(0105R)

Copyright © 2001, Cisco Systems, Inc.  
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501

DOC-J-7812330=  
78-12330-01-J  
dehi0109-01